

地域公共交通計画における課題および基本理念等の設定について

令和4年10月13日

1. 飯塚市公共交通の課題

飯塚市の公共交通が直面している主な課題は次のとおりです。

課題1 民間公共交通事業の確保、維持

- 利用者減少傾向による、事業収益の悪化
(新型コロナウイルス感染拡大の影響が追い打ち)
- 運転手不足により、従来どおりの運行維持、継続が困難
- 事業の縮小化(路線バスの減便・廃止等)
- 赤字補填を受けるバス路線の増加

課題2 コミュニティ交通の運行・運営の効率化

- 事業運営の効率化に関する検証
- 各コミュニティ交通の運行・利用方法、利用状況に関する検証
- 地域運行型交通事業の継続性

課題3 民間交通とコミュニティ交通の効果的・効率的な連携

- 公共交通関係事業費の大幅な増加
(コミュニティ交通運行経費+民間路線バス赤字補填)
- コミュニティバスと民間路線バスとの路線の近接、重複による競合

課題4 利用者ニーズへの対応

- 各地区に応じた利用者ニーズへの対応
- 地域運行型交通の安全安心な運行の実施
(運行管理、事故発生時や緊急時の対応等)

2. 基本理念

本市においては、第2次飯塚市総合計画において、都市目標像を「人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち」と定めております。

公共交通においては、拠点連携型のまちづくりを形成する中で、未来まで人々の暮らしを支えることができるように、民間事業者と行政の公共交通機関相互の連携、並びに地域住民と行政との協働により、持続可能な公共交通体系を構築することが必要です。

よって、飯塚市地域公共交通計画における基本理念を次のように定めます。

連携と協働による、暮らしを支える持続可能な公共交通体系の構築

3. 基本方針と目標

基本理念に基づいた飯塚市公共交通における基本方針を 3 つ定め、それぞれの実現化を目指すための目標を次のとおり設定します。

基本方針①：活力あるまちづくりを支える公共交通体系の構築

目標 1-1

拠点連携型まちづくりに寄与する公共交通体系の構築

- ◇拠点連携型のまちづくりと一体的な公共交通体系の構築
(地域拠点と中心拠点との連携、地区内輸送の整備等)

目標 1-2

身近な居住環境において日常生活を支える輸送と全市的な移動を担う輸送の確保・維持

- ◇民間路線バスの確保・維持と、「地区間輸送」「地区内輸送」で区分したコミュニティ交通事業運営
- ◇地区内の生活利便施設の確保、維持(利用促進)に寄与するような交通体系の構築

基本方針②：民間と行政との連携及び住民と行政との協働による公共交通体系の構築

目標 2-1

民間と行政との交通機関相互の連携及び地域住民と行政との協働による公共交通体系の構築

- ◇民間と行政との交通機関相互の連携及び地域住民と行政との協働による交通体系の構築
- ◇民間路線バスの確保、維持(利用促進)につながるような仕組みづくり

目標 2-2

住民ニーズに対応した多様な輸送手法の実現

- ◇日常生活を確保するための住民ニーズを反映した多様な輸送手法による運行の検討
- ◇各地区に適したデマンド型と定時定路線型の運行に関する検討

基本方針③：未来につなぐ、持続可能な公共交通事業

目標 3-1

民間と行政の役割分担等による効果的・効率的で長期的な公共交通事業運営

- ◇民間路線バスの確保・維持、「地区間」「地区内」で区分した輸送方法の採用、並びに住民ニーズの反映等による効果的、効率的かつ長期的なコミュニティ交通事業の運営

目標 3-2

近隣自治体との連携による輸送機能の確保・維持

- ◇民間路線バスの確保、維持(利用促進)につながるような仕組みづくり

4. 目標達成のための施策設定について

各目標を達成するための具体的な施策については、現行計画の目標達成状況を検証したうえで、継続や見直し等について現在検討中です。

なお、過年度計画における施策一覧は次のとおりです。

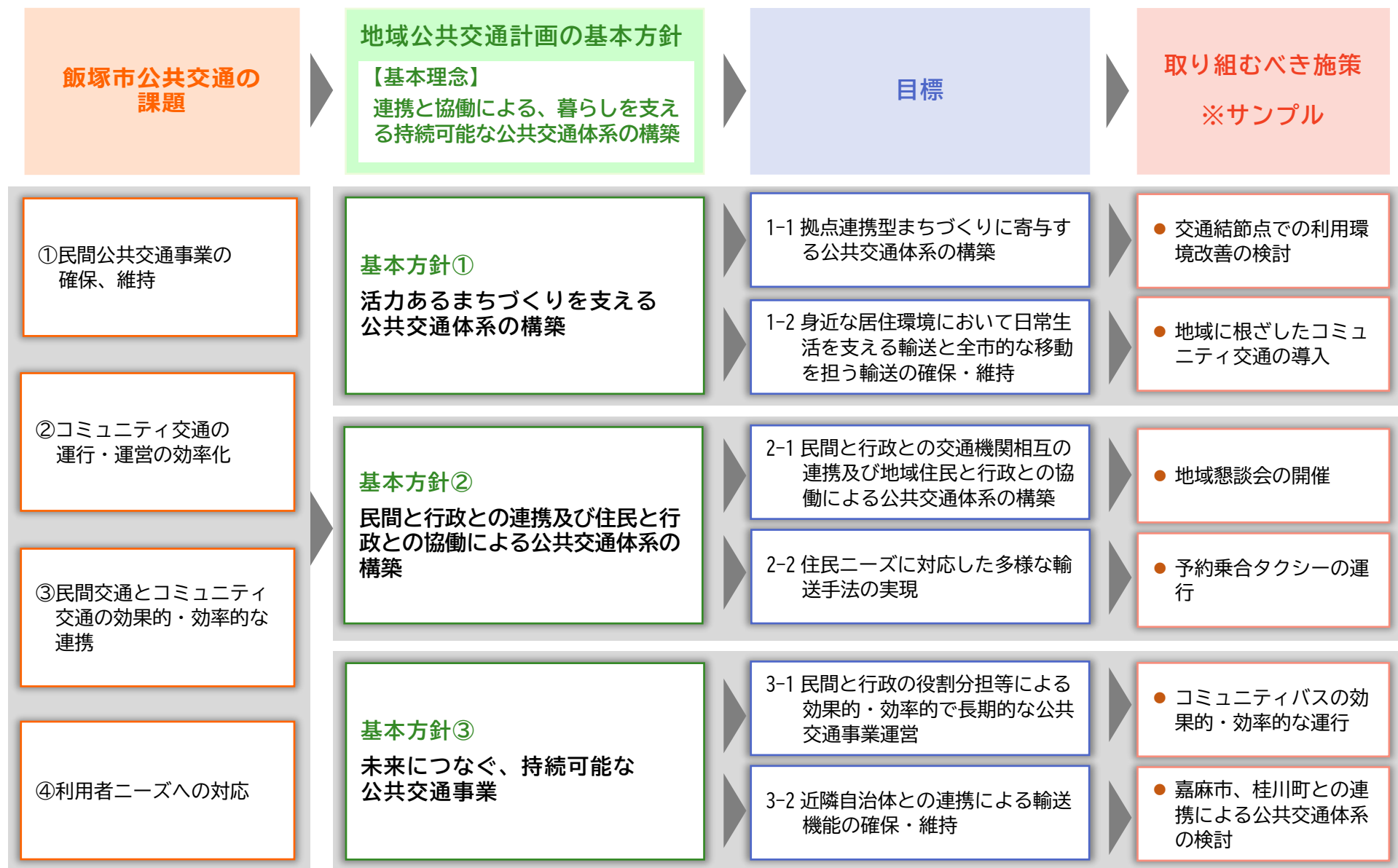
過年度計画における施策一覧

◆飯塚市地域公共交通網形成計画（平成 27～29 年度）

- 施策 1:公共交通モニタリング
- 施策 2:時刻表・バスマップ、PR チラシ等の作成
- 施策 3:街なか循環バスの実証運行
- 施策 4:地域懇談会の開催

◆第 2 次飯塚市地域公共交通網形成計画（平成 30～令和 4 年度）

- 施策①:公共交通モニタリング
- 施策②:地域懇談会の開催
- 施策③:コミュニティバスの効果的・効率的な運行
- 施策④:交通結節点の設置
- 施策⑤:交通結節点での利用環境改善の検討
- 施策⑥:店舗送迎専用シャトルバスと既存公共交通の効果的・効率的な運行の検討
- 施策⑦:通勤・通学の利便性向上に向けてJR福北ゆたか線の段階的複線化の検討
- 施策⑧:福岡空港への利便性向上に向けてJR篠栗線と地下鉄福岡空港線の接続検討
- 施策⑨:高速バスの確実な運行の確保に向けて八木山バイパス4車線化の検討
- 施策⑩:各地区のイベントに活用できる公共交通体系の構築
- 施策⑪:予約乗合タクシーの運行
- 施策⑫:まちづくり協議会を主体とした地域に根差したコミュニティ交通の導入
- 施策⑬:JR駅のバリアフリー化推進
- 施策⑭:嘉麻市、桂川町との連携による公共交通体系の検討
- 施策⑮:嘉飯圏域の高校生の通学を支援するバス路線維持の検討
- 施策⑯:公共交通とウォーキングコースとの連絡
- 施策⑰:公共交通利用に対する支援(利用方法説明会の開催等)



▲飯塚市公共交通の課題・基本理念・基本方針等の関連図イメージ